



- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



平成26年度 冬休み明け集会!



【チーム要田：この12名で頑張ります!】



明けまして、おめでとうございます。子どもたちが、こうして元気に集うことができ、うれしく思います。

冬休みはどうでしたか? 「ありがとうございました。」の感謝の言葉を心を含めて言うことができましたか? 後期後半も多くの人に見守られながら過ごすこととなります。感謝の気持ちを素直に表現できる自分を大切にしてください。

さて、今年は羊(ひつじ)年。「どうして十二支はあの動物なの?」 福島県の民話を紹介します。

謹賀新春

本年が皆様にとりまして
良き年でありますよう
お祈り申し上げます
平成27年 元旦



昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちにお触れを出したそう。

「元日の朝、新年の挨拶に出かけて来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう。」

動物たちは、おらが一番とて、めいめいが気張って元日が来るのを待っておった。ところが猫は神様のところにいつ行くのか忘れてしまったので、ねずみに訊くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやった。ねずみが言うのを間に受けて喜んで帰っていったと。

さて元日になると、牛は「おらは歩くのが遅いので、一足早く出かけるべ」と夜のうちから支度をし、ま

だ暗いのに出発した。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、ぼんと牛の背中に飛び乗った。そんなこととは知らず、牛が神様の御殿に近付いてみると、まだ誰も来ていない。我こそ一番と喜んで待つうちに門が開いた。とたん牛の背中からねずみが飛び降り、ちよろちよろと走って一番になってしまった。それで牛は二番、それから虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順で着いた。猫は一日遅れで行ったものだから番外で仲間に入れなかった。それでねずみを恨んで、今でもねずみを追い回すのだそう。

また、新しい年の初めにあたり、いい学級・学校だったとだれもがいえるものにするために、もう一歩の前進をして一年のまとめをしっかりとしてほしいと思います。そのために、日々の生活の中で心がけてほしいこととお話しします。

それは、「他の人のために何かできないか」考えてほしいのです。自分が困ったり、苦しんでいるとき、助けられ、励まされ、感謝した体験は誰にでもあると思います。集団の中の一人として生活する時、自分のことだけ考えていたのでは、楽しく、充実した学校生活は送れないことも十分わかっているはず。まず、自分から、他の人のために何かをすることによって、自分自身が助けられ、自分がここにいることの意味が実感できるのです。学校行事、児童会活動、学級活動を中心に、一人ひとりが、「他の人のために何かができる時」、より楽しい学級や学校になるのです。何かをすることが他の人のためばかりでなく、自分自身のためであることを心にきざんでほしいものです。充実した後期後半にしましょう。

後期後半の行事のメインは「卒業式」でしょう。6年生にとっても1~5年生にとってもこの1年の中で最高の思い出になるような式にするためにも、「他の人のために何かできないか」を考えて生活してほしいのです。

6年生にとっては、中学校入学に向けて忙しい時期かもしれません。忙しい時期だからこそ、心にゆとりをもち、「他の人のために」と考えることは大切だと思うのです。そんな児童が通う要田小学校であってほしいです。誰かの笑顔のために頑張る、すてきなことだと思いませんか。そんな心をみんなでもてたらすてきな学校になるのでしょうかね。

今日から始まる51日間の後期後半、「誰かの笑顔のために」、「他の人のために何かできないか」の心で生活し、楽しく舞うような活力のある年になることを願っています。